

## 青少年活動団体の支援

## 西播磨地域ふれあい活動促進事業



「西播磨地域ふれあい活動促進事業」は、青少年が様々な体験活動の中で、人々とのふれあいを通して自主性を育む活動や、子育てについて悩む者同士が講演・研修・学習会を通して学びあうなどの活動のうち優れたプランに対し、その活動費を助成する事業です。

令和元年度は、以下の2団体に対して助成を行い、地域の子どもたちと青少年育成活動等に取り組む大人のために有効活用されました。

事業名	主催団体	内容
たつのよさこい「播州わらべ」 15周年記念の集い	たつのよさこい 「播州わらべ」	子育て支援活動として誕生してから15周年を迎え、地域活動を支えてきた人たちに向けて「今を生きる喜び」をテーマに感動のステージを届けた。
「長谷川女流二段による 指導対局会」	佐用子ども将棋 教室	女流二段長谷川棋士を招いて、将棋に興味がある子どもに指導対局をしていただいた。プロ棋士と対局することにより感動と刺激を受け、日ごろの練習の糧にもらった。



たつのよさこい「播州わらべ」

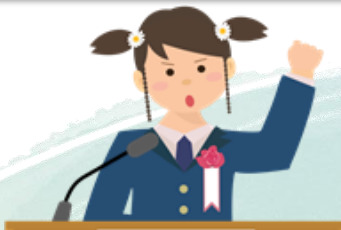


佐用子ども将棋教室



## 活動を支える人材の育成

## 少年の主張兵庫県大会「中学生のメッセージ2019」



と き：令和元年9月29日（日）

と ころ：兵庫県民会館

応募者総数：96校 8,461人（西播磨28校 860名）

県内の中学生が自ら社会の一員としての役割責任を自覚するなど、未来のひょうごを担う子ども・若者たちの成長をねらいとして、中学生が、日常生活や団体活動等の体験を通し、考えていること、感じていることを自分自身の言葉でまとめ、発表する兵庫県大会が開催されました。

西播磨代表として、赤穂市立赤穂西中学校3年 萩原 萌衣さんが県大会に出場され、近所のスーパーでみかけたセルフレジの導入を目の当たりにして、機械化や電子化で便利になった反面、一部の人には、不便を感じることもあるのではないかと考え「真のユニバーサル社会を築くために」はどうすればいいのかを発表しました。